

令和2年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立那賀高等学校	学校長名：歌 保晴 印
-----------------	-------------

めざす学校像 育てたい生徒像	「自ら学び鍛える那高生、地域に貢献する那高生」を教育目標とし、その実現につながる教育活動が展開される学校
本年度の重点目標 (学校の課題に即し、 精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 臨時休業による学習計画への影響を補完する施策を講ずる 2 3年生の進路保障に沿った進路計画の修正とその方策の実施 3 校内分掌組織の再編と体育文化クラブの統廃合

中期的な目標	1 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する体制を整える 2 入学当初の学力に見合った進路実現を果たす 3 現在の国際交流事業を維持し、国際理解教育を推進する 4 コミュニティスクール事業を活用し、地域貢献の量的拡大を図る	達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
学校評価の結果と改善方策の公表の方法	本校ホームページ等により公表		B	概ね達成した。(60%以上)
			C	あまり十分でない。(40%以上)
			D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
重 点 目 標					年 度 評 価 (2月15日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
1	今年度の年間指導計画と過去3年の授業時数を基にして、学校再開時からの指導計画を組み直す。	例年と比較して遜色のない教育活動が展開できたか	①時間割上の工夫 ②学校行事の精選 ③長期休業期間の短縮	すべて実績による	H28～30の平均授業時数とR2の授業時数における比較 1年 1059 ⇄ 987 2年 1079 ⇄ 984 3年 826 ⇄ 739 2ヶ月の休業で約9割が実施できている。 各教科への聞き取りでは、グループワーク、実験、実習等の活動は縮小されたが、計画された教育内容はほぼ消化できているということである。	B	コロナ禍が続くことが予想される中で、休業措置がとられた場合とそうでない場合を想定して対応していく。
2	○令和元年度末実進学数(卒業者数314名) 国公立20名、私立171名、短大17名、専門学校68名、就職20名、受験準備18名 ○本校の進学先の特徴 看護26(9%) 医療系33(12%) 教育24(9%)<R1年度末> 3年生には例年と変わらぬ進路保障が行えるようにしなければならない。	①例年の進路関係事業がどれだけ確保できたか ②実施に向けて、進路指導部⇄担任の情報共有がなされているか ③生徒の不安はどれだけ取り除くことができたか	①校長のリーダーシップのもと、進路指導部で検討 ②時間割内に学年別に担任会議を設定し、密なる情報共有 ③進路ホームルームの活用	すべて実績による	①夏季休業短縮により夏季補習が実施できなかったが、スタディサブりで補完した。その他の事業は時期変更によりほぼ実施。 ②担任会議は1年26回、2年23回、3年20回。今年は変更点が多かったり、新たな対応が求められたりする上で、十分に機能した。 ③コロナ禍による制約やストレスはあったが、自分だけが不利であるという状況は取り除くことができた。	B	いかなる状況であろうと、3年生の進路保障を行うことが大命題である。 さまざまな制限がかかったとしても、代替措置を講じて対応していく。
3	平成30年度から9分掌を7分掌に組織改編した。その後、平成31年度から1学級減に伴い、定数2減が進行中である。 定数減により部活動顧問においても兼務が増えている。令和3年度の全総文和歌山大会を考慮しつつクラブの統廃合を図る。	①検討手順は適切か ②定数に見合った分掌数、クラブ数となったか	運営委員会、職員会議、生徒会、特別活動部会での順を追った検討 ①教職員の働き方改革に寄与するものとなっているか ②生徒の部活動が保障されているか		分掌再編について校長作成案を各分掌で協議し、意見・要望を運営委員会で吸い上げた。 人権保健部と生徒指導部を統合 特別活動部と総務部を統合 クラブ統廃合 運営委員会4回、職員会議3回、特別活動部会3回で検討するもの良案に行き着かない。	B	令和3年度を検証期間にして、「働き方改革」の理念ができるだけ実現するように継続した検討を要する。

学校関係者評価
令和3年2月18日 実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>学校関係者評価について、学校運営協議会で、本校職員との意見交換等も参考に評価をいただいた。評価結果については次のとおりである。</p> <p>○コロナ禍の環境の中で、目標を概ね達成できたことは評価に値する。</p> <p>○コロナ禍による制約の中で、授業時数を9割確保できた。更に補習等により3年生の進路への不安を払拭する取組を行ったことは評価に値する。</p> <p>○学級数減による教員数減のため、クラブの統廃合及び分掌の組織改編を行うことは適切なことである。</p> <p>○学校評価シートは何らかの方法で年度末に結果と改善方策を公表することは大事なことである。</p>